

凍結保存された白血病細胞の研究利用について

神奈川県立こども医療センターでは白血病と診断された患者さんの、診断時あるいは検査時に採取された血液の一部を凍結保存しており、白血病の診断、病型診断に必要な臨床検査を後になって追加で行う場合に備えています。

診断が確定し追加検査が必要ないと担当医が判断した後、診断技術の向上や新しい治療法の開発を目的として、これらの保存検体を研究に利用させていただく場合があります。研究の成果は検体提供者(患者さん)の利益には直結しませんが、将来の他の患者さんにとって有用な結果になることを期待しています。

研究に利用する場合、検体には番号がつけられ、氏名、住所、生年月日、カルテ番号といった、患者さん個人を特定できるような情報とは切り離して管理されます。患者さんの個人情報を含まない、白血病の診断名(診断に必要な表面マーカー等の検査結果を含む)、検体採取時の年齢、性別、基礎疾患の有無(ダウン症候群の有無など)といった臨床情報は別表を持って管理し、検体番号と照合ができるようにします。学会等での報告において、患者さん個人が特定されるよ

うな情報が公表されることはありません。

研究には薬剤感受性試験（どのような薬剤が白血病に有効か試験管内で検査する）、発病や薬剤感受性に関係する白血病細胞の遺伝子異常の検査が含まれます。正常細胞の遺伝子検査は研究に含まれません。研究は神奈川県立こども医療センター倫理委員会で事前に審議を受けて、承認された場合にのみ、実施されます。

共同研究等のために外部に検体を提出する際も、個別に倫理委員会の承認を得て行います。

研究は血液・再生医療科の研究費を用いて行われ、患者さんに経費が発生することはありません。知的財産権が生じた場合、その権利は研究者に帰属します。

研究計画書の開示を含め、研究へのお問い合わせは下記にお願いいたします。

研究責任者

神奈川県立こども医療センター血液・再生医療科 後藤裕明

〒232-8555 横浜市南区六ッ川 2-138-4

電話 045-711-2351 (代表) E mail; hgotou@kcmc.jp